

## Admission Policy アドミッション・ポリシー

保健学研究科は、「真摯・自由・協同」の精神の下、崇高な倫理観と科学的視点を持ち、人類の健康と幸福に貢献する人材を育成するために国際的にも卓越した保健医療・健康科学に関連する教育を提供することを基本理念としています。このため次のような学生を求めています。

- ・明確な目的意識と旺盛な学習意欲を持った学生
- ・論理的考察力と客観的判断力を持った学生
- ・国際的視野に立って、研究・実践する能力を持った学生
- ・自らの専門性に対する誇りと協調性を持った学生

## Curriculum カリキュラム(教育課程・修了要件等)

大学院の教育方法に関して、大学院設置基準第11条に、「大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。」と規定されています。

本研究科前期(後期)課程の修了要件についても、当該前期(後期)課程に2年(3年)以上在学し、規定する単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士(博士)論文の審査及び最終試験に合格することが規定されています。

なお、前期課程及び後期課程とも中間発表を行い、研究指導の成果、研究の進捗状況を的確に把握し、その後の研究指導をより効果的に行うこととしています。

本研究科における研究指導は、入学した学生ごとに、指導教員と学生との間で研究指導題目を定め、指導教員と副指導教員及び関連分野の教員により、幅広く効果的に行うほか、総合研究プロジェクトに参加させる等、研究能力の向上や共同研究の手法にも習熟できるよう配慮しています。

### ■ 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例

本研究科では、授業の選択の幅を広げ、単位を取得し易くするために、夜間・土曜日に開講している授業があります。この夜間・土曜日の開講科目だけで、規定単位を取得することが可能です。

### ■ 長期履修制度について

本研究科では、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を越えて一定の期間(前期課程上限2年;後期課程上限3年)を加えた年数以内に計画的に履修し課程を修了することが可能な制度を設けています。

### ■ ティーチング・アシスタント(TA)制度について

優秀な大学院生に対し、教育補助業務を行わせ、学部教育におけるきめ細かい指導の実現や大学院生が将来教員・研究者になるためのトレーニングの機会を提供し、これに対する手当支給により、大学院生の処遇の改善の一助としています。



大学院生学位論文発表会

### ■ リサーチ・アシスタント(RA)制度について

将来、研究者となる意欲と優れた能力を有する後期課程の学生に対し、本学において行う研究プロジェクト等に、研究補助者として参画させ、研究活動の効果的な推進を図るとともに、研究補助業務を通じて研究遂行能力の育成を図ります。また、これに対する手当支給により、大学学生の処遇の改善の一助としています。

### ■ 学位について

本研究科前期課程、後期課程の修了要件を満たした者に、それぞれ修士(保健学)、博士(保健学)の学位が授与されます。

## 進路・奨学金・アクセス

### 主な進路 (平成25～29年度修了)

#### 【前期課程】

- ・ 国立大学法人神戸大学
- ・ 国立大学法人京都大学医学部附属病院
- ・ 公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院
- ・ 公立大学法人奈良県立医科大学
- ・ 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- ・ シスメックス株式会社
- ・ 武田薬品工業株式会社
- ・ 兵庫県庁
- ・ 国立大学法人神戸大学医学部附属病院
- ・ 地方独立行政法人神戸市民病院機構
- ・ 兵庫医科大学病院
- ・ 国家公務員共済組合連合会虎の門病院
- ・ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
- ・ 独立行政法人国立成育医療研究センター
- ・ 塩野義製薬株式会社
- ・ 中外製薬株式会社

(大学・短期大学・専門学校の教員になった者15名)

#### 【後期課程】

- ・ 国立大学法人神戸大学
- ・ 国立大学法人北海道大学
- ・ 国立大学法人三重大学
- ・ 公立大学法人和歌山県立医科大学
- ・ 香川県立保健医療大学
- ・ 地方独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
- ・ 国立大学法人神戸大学医学部附属病院
- ・ 国立大学法人京都大学医学部附属病院
- ・ ガジャマダ大学 (インドネシア)
- ・ 株式会社カネカ
- ・ 神戸市

(大学・短期大学・専門学校の教員になった者31名)

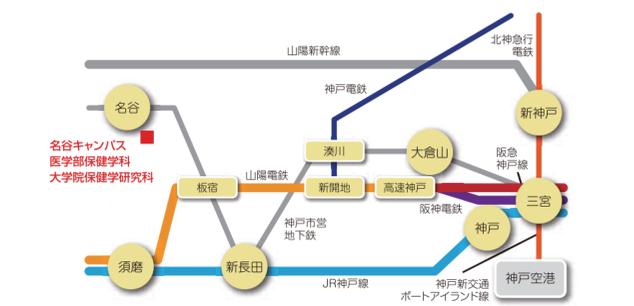
## 奨学金制度

本学で取り扱っている奨学金は、以下のとおりです。

1. 独立行政法人日本学生支援機構
2. 民間奨学団体・地方公共団体の奨学金制度
3. 神戸大学独自の奨学金制度

また、奨学金の種類には、卒業(修了)後、返還義務のある「貸与」と返還義務のない「給与」とがあります。

## アクセス



【利用交通機関】 神戸市営地下鉄「名谷駅」下車、南東へ徒歩15分。  
(神戸市営地下鉄「三宮駅」～「名谷駅」間約20分)

## 神戸大学大学院保健学研究科

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2  
TEL: 078-796-4504 FAX: 078-796-4509  
http://www.ams.kobe-u.ac.jp/



## Message 研究科長メッセージ

神戸大学は1902(明治35)年の創立以来、115年余の歴史を誇ります。現在は、10学部15研究科、学生総数約16,000名からなる総合大学として日本でも有効の研究・教育機関であり、「学理と実際の調和」を理念として、進取と自由の精神がみなぎる学府であります。神戸大学は、文系・理系のバランスが良く、どちらも優れた業績をあげております。また、文系・理系の垣根が低く、文理融合の研究が展開されていることもその特徴の一つであり、新たな学問領域を生み出す潜在的な能力が高い大学です。

保健学研究科は、大学院前期課程(各学年54名、平成31年度から64名)、後期課程(各学年25名)の定員があり、我が国でも有数の規模と研究推進大学としての質の高さを誇っております。専門領域としては、看護学領域、病態解析学領域、リハビリテーション科学領域の3基幹領域と、融合領域のパブリックヘルス領域から構成されています。各領域では、専門的知識・能力とともに創造性に富んだ研究者としての資質を養うよう心がけています。さらに、平成28年度からは大学院に助産師および保健師の教育課程が開設され、ハイリスク妊娠・分娩の管理や保健行政・国際機関で活躍できる医療専門職の養成を行います。このように保健学研究科では、高度専門人材・研究者や将来教員として働く指導的人材の養成を推進しています。

神戸大学は、世界中の様々な大学と交流を持っております。保健学研究科においても、平成24年度から28年度まで実施した世界展開力強化事業においては、ASEAN諸国トップ5大学との連携の下、大学院生の短期・長期における交換留学を実施し、アジア地域における次世代保健学グローバルリーダーの育成に努めました。平成29年からは、環太平洋諸国との連携・協働による次世代グローバルヘルスリーダー育成プログラムを実施しております。日本を含めたアジア地域では、少子高齢化対策が必要とされています。海外大学・研究機関、WHOなどの国際機関との連携により構築された共同研究ネットワークを活用し、アジア諸国の保健衛生課題に取り組んでいきたいと考えています。

さらに、英語教育に関しては、平成24年度から英語のみで大学院課程を修了できるコースを設置しており、グローバル化への対応を進めています。

医療分野の中では、ICTを活用した健康管理システムの構築や脳機能評価のための機器開発が強く望まれています。平成25年度からは、独立行政法人情報通信機構との間で連携講座を設立し、共同研究を進めています。また、企業等との共同研究開発事業も精力的に実施しています。今後、より学際的で文理融合型の新研究領域を開拓していきたいと考えています。

## Mission & Vision 理念と目的

### 基本理念

保健学は心身の健康や疾病・障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。心身の健康や疾病・障害は個人及び集団を対象として、身体的、精神的、社会的、倫理的側面から総合的に把握する必要があります。これが神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻の掲げる総合保健医療(total health care)の基本理念です。

### 目的

幅広い教養、豊かな人間性と倫理性を共通基盤として、①総合保健医療を確立するために必要な独創性と創造性を備えた研究者、②豊富な臨床経験とリサーチマインド、統率・管理能力を備えた高度医療専門職者、③臨床能力、研究能力、教育能力を備えた大学教員、④コミュニケーション能力や多文化理解能力を備え、国際保健を推進する高度医療専門職者を養成することです。

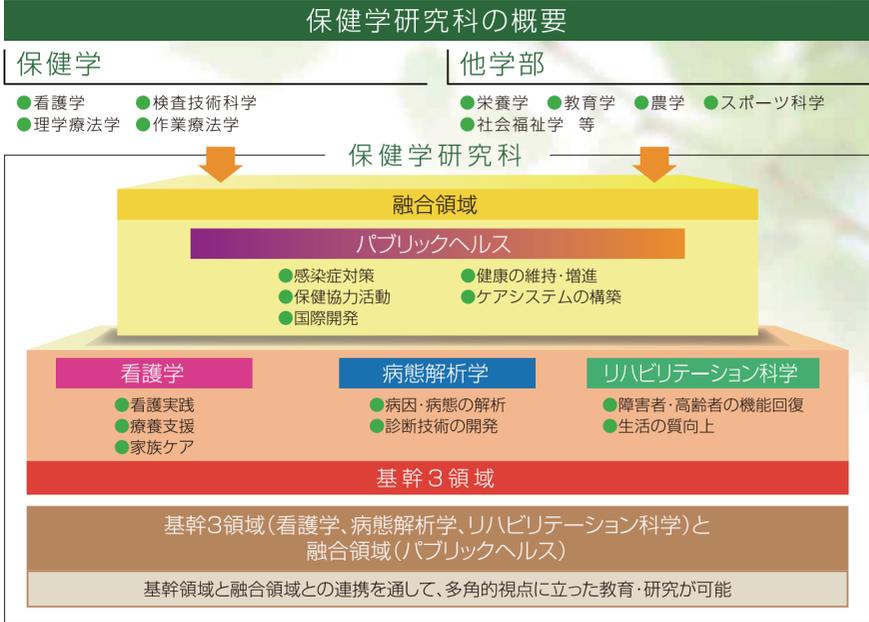
### 到達目標

上記の理念と目的を達成するために、5年間の博士課程を一貫したものとして捉え、博士課程前期課程と博士課程後期課程における到達目標を以下のように設定します。

前期課程では、臨床実践能力、直面する問題を多角的に分析する能力、問題の解決に必要な研究能力を涵養し、チーム医療、チームケア、総合保健医療、国際医療保健の中で活躍できる高度医療専門職者を養成する。本課程のなかに家族看護専門看護師課程を設置し、専門領域での認定等に関わる教育を効果的に取り込む。

後期課程では、前期課程において修得した分析能力、問題解決能力、研究能力を更に高度化し、創造的・開発的研究を通して新しい総合保健医療を創造・実践、教育できる独創性、創造性豊かな教育・研究者を養成する。





## Topics トピックス・特色

### POINT 1 総合大学の利点と学際的アプローチ

我が国は少子高齢社会を迎え、医療・保健課題も病院から地域へ、[disease oriented]から[health oriented]へとシフトしています。健康維持・増進、障害からの回復、保健・医療制度の整備等の課題は、保健学研究科だけでは解決できません。神戸大学は文理融合型の総合大学であり、他分野との連携、分野横断的な学際的教育研究体制が柔軟に構築されています。また、学内には、地域連携センター、国際研究教育センターもあり、産学官共同研究の海外や地域への展開、成果の社会還元へのチャンネルも充実しています。

### POINT 2 家族支援専門看護師(家族支援CNS)コース

本学は、「家族看護学」という新しい分野のフロンティアです。前期課程には、わが国に6校しかない家族支援専門看護師(Certified Nurse Specialist: CNS)コースがあります。CNSは、看護職の最上位の資格のひとつ(高度実践看護師)で、診断・治療に関わり、ケアとキュアを融合した高度な看護実践を展開できる教育課程を導入しています。本コースでは研究から得たエビデンスや理論に基づいた家族支援を実践でき、国際的に活躍できる高度専門職業人の輩出を目指しています。

### POINT 3 英語コース(International Course for Health Sciences: ICHS)

平成24年度より前期課程の大学院生を対象に英語コース(International Course for Health Sciences: ICHS)を開講しました。平成26年度からは後期課程の大学院生にもICHSが開講されました。これは、大学院生がその修学期間を通して英語のみで単位を取得し、修了することができるコースです。専任教員による英語講義に加え、ネイティブ教員による通年の講義、また、夏季には東南アジアを中心とした諸外国からの講師によるSummer Educational Programを開講しています。本コースを受講することで、保健活動を展開するためのコミュニケーション能力や異文化理解能力を身に付け、海外における社会・経済状態や生活様式に適合した総合保健学を創造・実践することができます。国際貢献できるより高度な保健実践専門職者を養成することを目的としています。

### POINT 4 海外研修

大学で修得した知識とスキルをより実践的なものにするとともに、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を養うために、環太平洋諸国の大学と提携し、大学院生の双方向型の交流を実施しています。「環太平洋諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成」と名付けたこのプログラムでは、海外提携校における既存カリキュラムを活用した講義・実習、附属病院・研究室での実地研修を行うとともに、所定の単位も認定されます。

### POINT 5 前期課程における保健師と助産師の教育

本学では、平成28年度より前期課程において保健師及び助産師を養成しています。保健師教育では、優れた研究能力とエビデンスに基づく確かな実践力を備え、学際的及び国際的な視座から地域社会の複雑多様な公衆衛生上の健康課題を解決できる高度専門職としての保健師を養成しています。助産師教育では、正常範囲の助産診断技術に加え、ハイリスク管理、管理経営能力、国際的視野、研究能力に優れ、自律した専門性を有し幅広く社会貢献できる高度専門職としての助産師を養成しています。